アイルランド | Ireland



国名――――アイルランド（Ireland）
国土面積――――７万273㎢（日本の0.19倍）
人口――――421万人（2006年央推定）
首都（人口）――ダブリン（Dublin）119万人（2006年）
主要言語・宗教―アイルランド語、英語　カトリック
通貨――――ユーロ（2006年平均　１ドル=0.7971ユーロ）

政　治

政体――――立憲共和制
元首――――メアリー・マッカリース大統領（2004年11月就任　任期７年）
議会――――二院制（上院60、下院166、任期５年）
内閣――――バティ・アハーン首相（2002年６月再任、共和党）

［政治情勢］ 2002年５月に行われた下院選挙で、アハーン首相率いる共和党が大差をもって勝利し、進歩民主党との中道右派連立政権を継続して第２次アハーン政権を樹立した。2006年度予算案は好調な税収を背景に、所得税減税、チャイルドケア、保険衛生、教育部門、交通インフラ整備など、国民が関心を寄せる分野に重点的に配分された。これは2007年の中間時期に総選挙が予定されているが、それを意識した予算編成であった。対外的にはEU外交を重視し、2004年前半のEU議長国任期中に、中・東欧諸国等の10カ国の新規加盟が実現した。

経　済

［経済動向］ 2005年の経済は、実質GDP成長率が前年の4.3%を上回る5.5%と引き続き手堅い成長を達した。最大の成長要因は個人消費と総固定資本形成の伸びであった。個人消費は雇用と所得の増加により、それまでの3.5%前後の伸びが6.6%となった。総固定資本形成は建築ブームと資本財投資の拡大により前年の7.4%に対し12.8%と大きく伸びた。懸念された失業率は景気回復を受けて前年の4.5%%から、4.4%と改善傾向を示している。

主要経済指標

国内総生産（GDP）：2003年1,389億ユーロ　2004年1,476億ユーロ　2005年1,612億ユーロ
１人当たりGDP：2003年2万8,300ユーロ　2004年3万ユーロ　2005年３万1,600ユーロ
GDP伸び率：2003年4.3%　2004年4.3%　2005年5.5%
消費者物価上昇率：2003年4.0%　2004年2.3%　2005年2.2%
失業率：2004年4.5%　2005年4.4%　**外貨準備高（2006年末）**：7億2,000万ドル

GDPの産業別構成（2005年）

農林水産業2.9%　　鉱工業（含む建設）36.1%　　サービス業61.0%

主要産業

GDPに占める農業の比率は減少しているが、農産品の輸出比率は高く、農産品は５割、畜産品は７割が輸出されている。製造業は、衣類、皮革製品等の伝統的産業とエレクトロニクス、コンピュータ、事務機等の外資主導の輸出型産業があるが、後者の輸出比率が年々高まっている。近年は医薬品を中心とする化学品の輸出が増えている。

貿　易

［貿易動向］ 2005年の貿易は、輸出が前年比4.9%増の883億5,500万ユーロ、輸入が10.9%増の551億2,900万ユーロで、貿易収支の黒字は前年比3.8%減の332億2,600万ユーロとなった。輸出では有機化学品が前年比22.0%増と大きく伸び、最大の輸出品目となった。輸入では原油価格の高騰で鉱物性燃料が41.3%増と急増したほか、主要品目の機械類、自動車も２桁の伸びとなった。国別では主要輸入国である、英国、米国、ドイツ、オランダからの輸入が10%以上の伸びで拡大した。

貿易額の推移（100万ユーロ）

年	2002	2003	2004	2005
輸出（FOB）	93,343	81,997	84,242	88,355
輸入（CIF）	55,413	47,636	49,694	55,129

主要商品類別輸出入（2005年、100万ユーロ、%）

輸出（FOB）

品目	金額	構成比
医薬品	11,457	13.0
自動データ処理機	9,952	11.3
複素環式化合物	7,712	8.7
核酸	4,710	5.3
香気性物質混合物	4,623	5.2

輸入（CIF）

品目	金額	構成比
自動データ処理機	4,040	7.3
事務用機器部品	2,988	7.2
乗用車	2,266	4.1
集積回路	1,979	3.6
石油・同製品	1,951	3.5

主要国別輸出入（2005年、100万ユーロ、%）

輸出（FOB）

国名	金額	構成比
米国	16,421	18.6
英国	15,366	17.4
ベルギー	13,514	15.3
ドイツ	6,523	7.4
フランス	5,685	6.4

輸入（CIF）

国名	金額	構成比
英国	20,483	37.2
米国	7,602	13.8
ドイツ	5,047	9.2
オランダ	2,467	4.5
フランス	2,012	3.7

投　資

[直接投資動向] 直接投資を国際収支ベースで見ると、対内直接投資が2003年まで100億ドルから300億ドル前後の流入で推移してきたのが、2004年には一転して109億9,400万ドルの引き揚げ超過となり、さらに2005年に297億3,000万ドルの引き揚げ超過となった。これは2003年に労働集約的な多国籍製造企業の工場閉鎖や生産拠点の中・東欧、アジアへのシフトが相次いだが、この傾向が続いたためと思われる。対外直接投資は前年比24.0%減の137億6,000万ドルであった。

日本との経済関係

2005年の対日貿易は、輸出が前年比0.6%減の23億3,500万ユーロ、輸入が14億5,300万ユーロで、対日貿易収支は黒字で前年比1.8%増の8億8,200万ユーロであった。主要輸出品目は最大品目の自動データー処理機が前年比37.9%と大きく伸び、以下に20.2%増のコンタクトレンズ、集積回路、整形外科用機器、輸入品目では最大品目の乗用車が16.1%増と伸び、以下に医薬品、集積回路、レーザー機器であった。アイルランドにおける日系進出企業は2005年末で18社であった。

日本との貿易の推移（100万ドル）

年	日本の輸出	日本の輸入	バランス
2004	1,985	3,792	△1,807
2005	1,946	3,793	△1,847
2006	1,638	3,492	△1,854

日本の直接投資額の推移（億円）

年	金額
2003	－
2004	－
2005	△120

主要商品別輸出入（2006年、100万ドル）

日本の輸出

商品名	金額
乗用車	403
有機化合物	264
原動機	111
電子部品	67
事務用機器	55
建設・鉱山用機械	49
バス・トラック	45
電気計測機器	32

日本の輸入

商品名	金額
有機化合物	1,050
科学光学機器	962
事務用機器	469
医薬品	427
電気計測機器	65
肉類	43
アルコール飲料	18
魚介類	7

日本の業種別投資額（2005年、億円）

業種	金額	業種	金額
サービス業	△111	卸売・小売業	△9
金融・保険業	47	機械	－
化学・医薬	△42	鉱業	－
電機機械器具	△9	合計	△120

一般事情

気候　海流の影響で1年を通じて寒暖の差が比較的少なく、夏も平均気温は15℃前後と冷涼、冬は5℃前後で雪はめったに降らない。雨は年間を通してみられ年間1,000mmと多い。

定休日　官公庁、企業、商店ともに土曜、日曜が定休日。

日本との時差　－9時間（夏時間3月の最終日曜～10月の最終日曜、－8時間）

在留邦人数（2005年10月）　総数926人

祝祭日（2007年）（ダブリン）

● 1月1日(月)…新年 ● 3月19日(月)…聖パトリックの日 ● 4月6日(金)…聖金曜日 ● 4月8日(日)…復活祭 ● 4月9日(月)…復活祭月曜日 ● 5月7日(月)…バンクホリデー ● 6月4日(月)…バンクホリデー ● 8月6日(月)…バンクホリデー ● 10月29日(月)…バンクホリデー ● 12月25日(火)…クリスマス ● 12月26日(水)…クリスマス(聖ステファノの日)